

## 柱5 健全な身体をつくるスポーツ活動の推進(追加資料)

### ○重点的取組1 多くの市民が参加できるスポーツ大会の実施

#### [目的]

各種スポーツ大会を開催することにより、市民のスポーツ人口の拡大を図り、スポーツ活動の機会の提供及び競技力・体力の向上に寄与することを目的としています。

#### [成果]

15大会を開催し、延べ6,528人の参加を得ることができ、スポーツ・レクリエーション活動の機会の提供を図ることができました。

第5回柳川おもてなし健康マラソン大会では、参加申込者2,108人に対して他市より652人、遠くは千葉県習志野市から、最高齢者は85歳男性が参加され、広く柳川市をPRできました。

### ○平成30年度事業実施状況

スポーツ大会の名称	開催期日	参加人数	市内参加者数
市民グラウンドゴルフ大会	5月12日	283人	283人
市長杯軟式野球大会	5月15日～7月1日	356人(16チーム)	14チーム
市民ソフトテニス大会	5月26日～27日	144人(72ペア)	216人
市民ソフトバレーボール大会	6月3日	154人(32チーム)	14チーム
市民ペタンク大会	6月15日	170人(44チーム)	170人
有明海旗争奪少年剣道大会	7月8日	台風により大会中止	
とびうめ国体記念卓球大会	10月7日	453人	53人(個人戦)
近隣市町少年ソフトボール大会	10月7日	310人(20チーム)	4チーム
園田兄弟杯少年柔道大会	10月21日	452人(42道場)	2道場人
雲龍顕彰記念少年相撲大会	11月3日	350人	237人 19小学校
市内少年剣道大会	11月23日	116人	116人
柳川市駅伝競走大会	1月27日	695人(駅0伝313人) (タイムトライアル382人)	48チーム
柳川市ニュースポーツフェスタ	2月10日	169人(25チーム)	169人
中学バレーボール柳川大会	3月17日	768人(64チーム)	7チーム
柳川おもてなし健康マラソン大会	3月21日	2,108人	456人

## ○重点的取組2 東京オリンピック・パラリンピックに向けた事前キャンプの受け入れ

### (1)成果(追加分)

柳川市、みやま市が連携を図り、第32回オリンピック競技大会(2020/東京)及び東京2020パラリンピック競技大会の事前キャンプを円滑に運営し、東京2020大会を通じて、国際交流の輪を広げるとともに、次世代を担う子どもたちへのスポーツの推進及びスポーツ文化の継承と発展に寄与することを目的に、昨年度はみやま市にトンガ王国から2名の競泳選手、柳川市にバヌアツから1名の女子卓球選手(トミー・プリシラ選手)によるトライアルキャンプを行いました。

また、令和2年度にもオセアニア諸国の選手を対称に6月から約1ヶ月間の事前キャンプ受け入れの準備をしております。種目は、卓球・テニス・ボクシングとなっております。

### (2)課題(追加分)

東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプにおいては、柳川での選手の体調管理や練習強化体制の万全なバックアップを行うとともに、選手たちの空き時間を活かして、スポーツ交流を通じた柳川市民のスポーツの振興や新たな文化交流、地域交流をどう行うかを検討する必要があります。

また、オリンピック開催期間中においても事前キャンプを行った選手のほか、オセアニア諸国の選手を応援することにより、新たな国際交流の機運を高めることができると考えます。

さらに、オリンピック終了後においても、事前キャンプを通して築いたオセアニア諸国との交流をさらに発展させ、新たな国際交流を行い、観光振興のみならずスポーツを通じた青少年健全育成など今後の地域活性化の方法を考える必要があります。